



令和6年 6月議会のご報告

1

公立学童の民間委託が決まりました

利用者ニーズやサービスの向上を図るため、来年度から市内の公立学童保育室の運営を民間に委託することになりました。延長保育の拡張や土曜保育の拡充が予定されています。学童支援員の方、保護者の方への説明会は10月に行う予定ですので、ぜひホームページ等での確認をよろしくをお願いします。

2

紙の保険証の廃止について

国での決定を受けて、羽生市でも現在の紙の保険証の廃止に関する条例改定が進んでいます。しかしマイナンバーカード取得に対して、現時点で弱い立場にある方々への公的なサポートが確立されていないこと、マイナ保険証のトラブルが続出していること、オンラインが前提の制度で災害時に利用できなくなる危険性などを踏まえ、はにゅう市民ネットとしては紙の保険証をなくすことに慎重な立場です。

3

ご存じですか、NWECCのこと

女性議員や女性管理職の少なさや、地域に根付く慣習などで、女性が意思決定に関われないことは大きな問題です。埼玉県比企郡にある国立女性教育会館（NWECC）は全国唯一の女性教育施設ですが、存続が危ぶまれており、羽生市議会として「NWECCの現在地での存続を求める意見書」を提出しました。



※NWECC（ヌエック）とは national woman education center の略です（埼玉市民ネットワークのみんなど）

学校のこと、どう思う？（表紙の続き）

◆教育委員会の説明にモヤモヤ

来年度以降「市内陸上記録会」「運動会の鼓笛活動」そして「市内硬筆展覧会」を実施しないという手紙が学校から配布されました。「とても残念」「何も知らなかった」など多くの方から意見をいただき、6月議会ではこの決定のあり方について一般質問をしました。どの行事も、教員の働き方改革が主な目的ということですが、段階的な中止は検討されなかったのか、子どもの意見は聞いたのか、説明は十分だったのかなどを教育委員会に確認しましたが、あまり納得できる回答ではありませんでした。



◆大人として、地域としてできることは？

もちろん先生方の負担軽減は必要で、保護者や地域が積極的に学校に関わることも大切だと考えます。行事がなくなる代わりに、体育館を開放して子どもたちと一緒に運動を始めた地区や、鼓笛の代わりに音楽クラブを立ち上げる学校などもあるようです。任せきりにするのではなく、しっかりコミュニケーションをとることでより、学校と家庭/地域が信頼し合える関係になればと思います。

はにゅう市民ネット 《今後の予定》

- 9月1日（日）ミニ議員カフェ in サンバンド
「僕らの集会所」にて（下新郷760-1）
- 令和6年度9月藍染議会 8月27日～9月24日まで